



# MBニュース



## 【新物メンマ情報】

丸松物産株式会社

昨年、メンマの産地である広東省では、大きな天災にこそ見舞われなかったが、今年に入り、メンマに加工される原料の生産量は、ヒネ物(2012年産)に比べて約26%と大幅に減少していたとの情報です。

大幅減となった主な原因は、生メンマ(生鮮タケノコ)の消費が、中国国内で増加傾向である事、また、日本・東南アジアでのタケノコの穂先(先端)部分の需要が増加している事(穂先部分の長さが通常のものに比べて約1.5倍以上に長めに調整されたものが出回り、その影響で、本来メンマに使用される部分までも削られている)などが挙げられます。

現地における新物原料の相場は、取引が開始された昨年の9月では、一昨年並みではありましたが、一部の仲買業者によって、原料の買い占めが継続的に行われていた為、その相場を押し上げた形となり、現状では12%以上の上昇率となっています。

弊社では、このような状況下において、これまで原料の確保に努めて参りましたが、今後は製品に対する価格の上昇(人民元の切り上げによる元高や昨年から続く日本政府の政策による対ドルの円安加速、増税などの影響など)を受けることは必至となり、この紙面にて現状をご理解賜りたくお願い申し上げます。

## 【26省が最低賃金基準を調整、平均18%増に】

2013年には全国※26省(自治区・直轄市を含む)で最低賃金基準が調整され、最低月給基準が平均18%増となった。所得は低・中所得者に集中しているが、この影響により中国の人件費面のメリットが薄れ、経済発展方式のモデルチェンジと産業構造の調整が迫られることになる。

～中略～

中国国際経済交流センター副研究員の張葉楠氏は、「大量の適齢期の労働力と安価な人件費が形成した人口のボーナスは、中国経済に過去数十年間の高度成長をもたらした。しかし人件費の上昇に伴い、安価な賃金で多くの労働力を引きつけることによる、経済の高度成長が実現できなくなっている。当面の急務は労働生産性と労働者の素養を高め、人口のボーナスから人材資本のボーナスに変わることだ。これは中国が歩まなければならない道だ。人口のボーナスがまだ終わらないうちに、多くの高い素養を持つ労働者を早く育成する必要がある。労働力をアップグレードしなければ、産業のアップグレードは実現しがたい。かつての人口の数によるボーナスから、人口の素養によるボーナスに変わるべきだ」と指摘した。

※26省(自治区・直轄市含む)以外 …… 黒龍江省、河北省、湖北省、重慶市、青海省、チベット自治区

「人民網日本語版」2014年1月15日より一部抜粋

## 【お薦め商品情報】

	商品名	MBベトナム産ヤングコーン (Sサイズ)	アレンジメニュー
	商品説明	ベトナム産のヤングコーン水煮です。和・洋・中間わず幅広くご利用出来ます。規格として1号缶(200～250本)と3号缶(20～25本)をご用意しております。	
	主要原材料	ヤングコーン	
	賞味期限	製造日より3年	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。	
			ヤングコーンと※しゃき筍ねぎ塩ペッパー(弊社製品)の炒めもの

以上